

熊谷保健所管内の各市町地域防災計画等の状況

令和4年9月末現在

資料2

| 区分 | 熊谷市 | | 深谷市 | | 寄居町 | | 管内全体 | |
|--------------------------------------|--|--|--|---|---|----------------------|--|-----------------------|
| 人口(R4.1.1) ※町(丁)別人口調査(R4.1.1)による。 | 人口 | 193,820 人 | 人口 | 142,383 人 | 人口 | 32,587 人 | 人口 | 368,790 人 |
| | 世帯数 | 88,072 世帯 | 世帯数 | 61,405世帯 | 世帯数 | 14,769世帯 | 世帯数 | 164,246世帯 |
| | 65歳以上構成割合 | 29.9% | 65歳以上構成割合 | 29.7% | 65歳以上構成割合 | 34.1% | 65歳以上構成割合 | 31.2% |
| | 面積 | 159.82km ² | 面積 | 138.37km ² | 面積 | 64.25km ² | 面積 | 362.46km ² |
| 自然条件 (地形条件、河川、地質、活断層) | 市域の地形の大半は、荒川によって形成された扇状地から漸移した氾濫平野となっている。南部に荒川が、北部には利根川が流れており、旧河道が網状に複雑に存在し、それらに沿うように自然堤防が発達している。また、市の西部には櫛引台地(標高約30～60m)が、南部には、比企丘陵北端部にあたる江南台地(標高約45～60m)がそれぞれ分布しているが、いずれも範囲は狭い。表層地質は、櫛引台地や江南台地に分布するローム層、扇状地や氾濫平野に分布する砂泥を主体とした沖積層に大別される。活断層は、深谷断層、江南断層が存在する。 | | 北部は利根川水系の低地、南部は荒川が扇状地を形成する台地地形である。深谷市域に係る活断層は、関東平野北西縁断層帯の深谷断層と櫛挽断層がある。市域の表層地質は、未固結の沖積層が、利根川、荒川などの低地を中心に分布している。川に挟まれた台地には礫を中心とした沖積層が分布し、その表面を火山灰質粘性土が覆っている。主な河川として、北部に利根川、南部に荒川が流れ、市内を流れる唐沢川は市街地を抜け、小山川へと注いでいる。 | | 山地、丘陵、台地、低地と多様な地形になっており、荒川が町域の中央を屈曲しながら、東流している。西部地域はすべて、古生界の変成層である三波川結晶片岩によって占められているが、東部地域は三波川結晶片岩をはじめ、中生界、第三系及び火成岩類が西北西―東南東方向に細長く帯状に分布している。 | | JR高崎線沿線を中心に発展し、特に熊谷市は交通の要衝として古くから行政機能や商業施設が集積し、深谷市も商工業の集積が進んでいる。恵まれた気候・風土から、区域内では農業も盛んで田園風景が残っている。近年は、人口の緩やかな減少が続いているが、熊谷市、深谷市を中心に現在も都市化は進んでいる。一方で高齢者人口は増加しており、高齢化率は県の平均を上回っている。 | |
| 被害想定 * 想定 of 最大値 | ・関東平野北西縁断層帯地震中央(熊谷市最大震度7) 全壊4,326棟、半壊8,759棟、 焼失830棟、死者284人、 負傷者1,954人。 避難者は1日後16,641人、 帰宅困難者は31,795人。 | | ・関東平野北西縁断層帯地震、破壊開始点北(最大震度7) 全壊5,161棟、半壊3,518棟、焼失151棟 死者342人、負傷者1,393人 避難者1日後7,893人 帰宅困難者16,867人 ※「平成24・25年埼玉県地震被害想定調査報告書」より | | ・関東平野北西縁断層帯地震北(最大震度7) 全壊2,662棟、半壊1,519棟、焼失261棟 死者159人、負傷者621人 避難者1日後5,185人 帰宅困難者約8,413人 ・立川断層帯地震(最大震度5弱) 全壊0棟、半壊0棟、焼失0棟 死者0人、負傷者0人 避難者は1日0人 帰宅困難者2,990人 | | | |
| 社会条件 | 【昼夜人口比】 令和2年(国勢調査) 97.5% 【鉄道】 JR東日本の上越・北陸新幹線及び高崎線、秩父市と羽生市とを結ぶ秩父鉄道本線が東西に通っている。 【道路】 市内には東西に国道17号及び国道17号バイパス、南北に国道407号が走り、このほか、国道140号及び国道125号も市の中心部付近から分岐している。また、これらの道路は県地域防災計画において緊急輸送道路となっている。 | | 【昼夜人口比】 94.1%(H27) 【鉄道】 JR高崎線、秩父鉄道の2路線 【道路】 主要道路: 関越自動車道、国道17号・同深谷バイパス・上武国道、国道254等 インターチェンジ: 関越花園IC・寄居SIC | | H22昼夜人口比88.4% 秩父鉄道、東武東上線及び八高線に8駅 関越自動車道花園IC 国道140号及び254号 主要地方道及び一県道 | | | |
| 災害特性 | 【地震】 ・深谷断層と綾瀬川断層を一体とした関東平野北西縁断層帯地震が発生した場合、市内最大震度7、死者約300人、1日後避難者数は約17,000人と想定(埼玉県地震被害想定調査より)されている。 ■平成23(2011)年 東日本大震災: 全壊家屋1棟、半壊家屋2棟、家屋一部損壊947棟、液状化現象について西城、日向及び上中条の各地区の一部の水田において発生。 【水害】 ・荒川、利根川、福川、石田川等の越水や決壊による氾濫時は、市内の多くの地域で浸水による大規模な被害の生じる可能性がある。 ■昭和57(1982)年 台風第18号: 半壊家屋1戸、床上浸水143戸、床下浸水2,466戸、浸水家屋238戸、橋梁流失3か所 ■令和元年台風第19号: 床上浸水1戸、床下浸水5戸、避難所52箇所、避難者10,160人 【雪害】 ■平成26年大雪(最大積雪深62cm): 重傷2名、中等傷10名、軽傷28名、アーケード・屋根の崩落・破損、農業用ハウス・温室の崩壊等 多数 | | ■東日本大震災では震度5強を計測した。人的被害として骨折1名、屋根瓦は落下するなどの民家の被害が35件であった。 平成26年度の大雪では、ビニールハウスの倒壊による農作物に被害を受けたほか、交通マヒなど市民生活への混乱をもたらした。 ■令和元年台風第19号 ・人的被害なし ・床上浸水3棟 ・避難所9カ所開設、避難者約3,200人 | | 東日本大震災で住宅の屋根瓦が一部崩落する被害が76棟、学校施設一部天井ボードの剥落3校、庁舎及び他の公共施設においてひび割れ等が発生した。 平成26年の大雪災害では、住宅の一部損壊、農業施設被害等を受けた。また、道路、鉄道における交通障害や一部地域で停電が発生した。 ・令和元年10月12日台風19号: 人的被害なし、住宅の大規模半壊2戸、一部損壊1戸、床下浸水2戸。一日当たり降水量471mmで37年ぶりに更新。指定避難所9箇所開設。17世帯断水。道水路に関しては主に西部地区の山間部を中心に道路の崩落や土砂崩れが発生。 | | | |
| 防災関連施設 | 広域避難場所 | 熊谷荒川緑地、熊谷スポーツ文化公園、別府沼公園、熊谷さくら運動公園、妻沼運動公園、江南総合公園(6か所) | 広域避難場所 | 仙元山公園 | 広域避難場所 | | 広域避難場所 | 7か所 |
| | 防災拠点施設 | 熊谷市役所本庁舎、大里庁舎、妻沼庁舎、江南庁舎、熊谷西高等学校、熊谷スポーツ文化公園、熊谷東中学校、吉岡中学校(8か所) | 防災拠点施設 | 中枢拠点(市庁舎)、地区拠点(12公民館) | 防災拠点施設 | 中枢拠点施設(町庁舎) | 防災拠点施設 | 22か所 |
| | ヘリコプター離発着所 | 熊谷防災基地、和田吉野川河川防災ステーション、大里ヘリポート、妻沼運動公園、福川河川防災ステーション、江南総合公園(6か所) | ヘリコプター離発着所 | 臨時ヘリポート(深谷市浄化センター)、仙元山公園グラウンド、豊里グラウンド、岡部中央グラウンド、川本天神グラウンド、花園消防署、深谷市消防本部 | ヘリコプター離発着所 | 町庁舎屋上・寄居運動公園 | ヘリコプター離発着所 | 15か所 |
| | 物資備蓄拠点 | | 物資備蓄拠点 | | 物資備蓄拠点 | | 物資備蓄拠点 | |
| 避難所 | その他 | | その他 | | その他 | | その他 | |
| | 避難所 | 115 | 避難所 | 60 | 避難所 | 20 | 避難所 | 195 |
| | 避難場所 | 195 | 避難場所 | 192 | 避難場所 | | 避難場所 | 387 |
| | 福祉避難所 | 43 | 福祉避難所 | 25 | 福祉避難所 | 5 | 福祉避難所 | 73 |
| 救護所 | 避難所を開設した第一避難所(30小学校)に状況に応じて設置 | 救護所 | 被災地に隣接した公民館等 | 救護所 | なし | 救護所 | | |

| | | | | | | | | |
|--|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 医療機関(病院)の耐震性 | 病院数 | 12(うち救急病院5) | 病院数 | 9(うち救急病院4) | 病院数 | 2(うち救急病院1) | 病院数 | 23(うち救急病院10) |
| | 未耐震 | 不明1(うち精神科病院0)、未1(うち精神科病院0) | 未耐震 | 不明3(うち精神科病院1)、未1(うち精神科病院0) | 未耐震 | 不明1(うち精神科病院0) | 未耐震 | 不明5(うち精神科病院1)、未2 |
| 診療所数(R4.9月末) | 医科 | 153 | 医科 | 94 | 医科 | 21 | 医科 | 268 |
| | 歯科 | 109 | 歯科 | 65 | 歯科 | 17 | 歯科 | 191 |
| 高齢者向け施設 | 特養(R4.9.1) | 14 | 特養 | 12 | 特養 | 3 | 特養 | 29 |
| | 老健(R4.9.1) | 5 | 老健 | 4 | 老健 | 2 | 老健 | 11 |
| | 有料(R4.7.1) | 22 | 有料 | 24 | 有料 | 7 | 有料 | 53 |
| 結核(登録時喀痰塗沫陽性) R3.1.1~12.31 | 活動性結核 7人 (うち喀痰塗沫陽性患者 1人) 潜在性結核感染症 10人 | | 活動性結核 11人 (うち喀痰塗沫陽性患者 5人) 潜在性結核感染症 18人 | | 活動性結核 1人 (うち喀痰塗沫陽性患者 0人) 潜在性結核感染症 2人 | | 活動性結核 19人 (うち喀痰塗沫陽性患者 6人) 潜在性結核感染症 30人 | |
| 精神保健診察 R3年度、R4.9月末 | 令和3年度 通報件数142件、措置診察件数74件、措置入院件数55件 令和4年9月末現在 通報件数61件、措置診察件数26件、措置入院件数20件 | | | | | | | |
| 在宅難病患者医療機器使用把握者 難病R3.12月末時点 小児慢性特定疾病R3.12月末時点 | 難病 | ALS在宅患者6(内訳:重複あり 人工呼吸器5、吸引5、酸素2、経管栄養3)、その他の神経難病患者7(内訳:重複あり 人工呼吸器6、吸引5、酸素1、経管栄養1) | 難病 | ALS在宅患者2(内訳:吸引1、経管栄養1)、その他の神経難病患者4(内訳:重複あり 人工呼吸器2、吸引1、酸素2、経管栄養1) | 難病 | ALS在宅患者0、その他の神経難病患者2(内訳:重複あり 人工呼吸器2、吸引2) | 難病 | ALS在宅患者8(内訳:重複あり 人工呼吸器5、吸引8、酸素2、経管栄養4)、その他の神経難病患者13(内訳:重複あり 人工呼吸器10、吸引7、酸素3、経管栄養2) |
| | 小児慢性特定疾病 | 医療的ケアのある受給者13 | 小児慢性特定疾病 | 医療的ケアのある受給者13 | 小児慢性特定疾病 | 医療的ケアのある受給者3 | 小児慢性特定疾病 | 小児慢性受給者29(内訳:重複あり 人工呼吸器3、酸素10、気管切開3、経管栄養・胃瘻腸瘻16、自己導尿6、IVH3) |
| 特定動物飼育施設数<種類(頭数)> R4.9月末時点 | 4<ワニガメ2(3)・ボアコンストリクター(ヘビ)1、ブラジルカイマン(ワニ)1> | | 2<イヌワシメソウゲンワシ1、ワニガメ1(2)、メガネカイマン(ワニ)1(2)> | | 0 | | 6<ワニガメ3(5)・ボアコンストリクター(ヘビ)1、ブラジルカイマン(ワニ)1、メガネカイマン(ワニ)1(2)、イヌワシメソウゲンワシ1> | |

協定、マニュアル等の整備状況

| 区分 | 熊谷市 | 深谷市 | 寄居町 | 管内全体 |
|-----------------------|---|--|---|--|
| 災害時相互応援協定(地方公共団体) | 大里広域市町(深谷市・寄居町)、比企郡市町村等(東松山市・坂戸市・滑川町・嵐山町・小川町・ときがわ町・川島町・吉見町・鳩山町・東秩父村)、埼玉県全市町村、群馬県太田市、群馬県前橋市、群馬県千代田町、群馬県大泉町、東京都世田谷区、長野県山ノ内町、全国18特例市 | 熊谷市、寄居町、群馬県伊勢崎市、本庄市、新潟県南魚沼市、埼玉県内市町村、国土交通省関東地方整備局、志木市、深谷警察署、群馬県富岡市、福島県白河市 | 熊谷市、深谷市、八王子市、小田原市 | |
| 協定を締結した医師会、歯科医師会、薬剤師会 | 熊谷市医師会、熊谷市歯科医師会、熊谷薬剤師会 | 深谷寄居医師会、大里郡市歯科医師会、深谷市薬剤師会 | 深谷寄居医師会、大里郡市歯科医師会、寄居薬剤師会 | |
| 災害時対応マニュアル | ・熊谷市災害時医療救護活動マニュアル(初期医療救護計画)【地震編】 ・避難所運営マニュアル ・避難所開設あんしんガイド(水害編・地震編・トイレ使えない編・停電編) | ・深谷市災害対策初動マニュアル【震災編】【風水害編】【雪害編】 ・避難所運営マニュアル | ・寄居町地震災害時職員初動期マニュアル ・新型コロナウイルス感染症対策に配慮した指定避難所の開設・運営マニュアル | ・埼玉県災害時公衆衛生活動マニュアル ・熊谷保健所健康危機管理マニュアル ・熊谷保健所ICSアクションカード |